

# カツオ餌料調査

飯 当 上 地 青 吉

まえがき

時期別の餌魚の種類、量、成長度等の資料集積のため、前年度に引き続き、実施したが、諸陣の都合で支障多く、僅か2ヶ月のみの調査に終った。

## I 調査概要

### 1. 調査期程及び地域

調査回次	期 間	地 域
第 一 次	1965年8月27日～9月1日	慶良間諸島沿岸
第 二 次	1965年9月25日～ 30日	全 上

### 2. 使用船及び乗組員

a かもめ丸……………5.95<sup>t</sup>～1.6HP

b 伊 計 全 一 郎 船 長 外 2 名

### 3. 使 魚 灯

第 一 次      24V・200W    水上灯1個(白色)

第 二 次      24V・250W    水中灯1個(★)

### 4. 調 査 経 過

- (第一次)    8月27日……………泊港出港  
8月27日～31日…阿波浦外側外4ヶ所に於いて使魚調査実施  
9月 1日……………泊港帰港
- (第二次)    9月25……………泊港出港  
9月25日～26日…那覇・久米島嶺の定点観測実施  
9月25日～29日…阿波島北東側外3ヶ所に於いて使魚調査実施  
9月30日……………泊港帰港

## II 調査結果

### 1. 調査状況

#### 第一次

調査 月日	調査 場所	水 深	調査時間			集魚状況
			点灯 時刻	消灯 時刻	所要 時間	
8・27	阿波浦 外右側	51 <sup>m</sup>	20-00 <sup>h m</sup>	23-00 <sup>h m</sup>	3-00 <sup>h m</sup>	点灯後直に、トウゴロイワシ集合し、23 <sup>h</sup> には、100~150kg位に達す。シイラー極く少々混じる。ミヤコイワシも50~60kg位集まり小鯽魚を食い散す。
8・28	阿波島 南東側 阿波曲	24 <sup>m</sup>	20-00	23-00	3-00	バカリヤコ、トウゴロイワシ、シイラー等30kg程集まったが殆んど幼稚魚。テンククタイの幼稚魚も混じる。ヤマトミズンの群100kgが出現したので23 <sup>h</sup> 一応消灯29日5 <sup>h</sup> 00 <sup>m</sup> 再び点灯。シイラー30kgとヤマトミズンの群300kgも集合す。
8・29	外地島 西側	34 <sup>m</sup>	19-30	3-40	10-10	トウゴロイワシ、シイラー、キビナゴ等が22 <sup>h</sup> 頃には、250~300kg集まったがその殆んどは、キビナゴであつた。アミも多かつた。ヤマトミズン150kg程も出現、ケモ漁いでキビナゴ10kg程採集(標本用)
8・30	安室島 北東側	54 <sup>m</sup>	19-30	3-30	10-00	シイラー、トウゴロイワシ、キビナゴ、イソイワシ、ミヤコイワシの仔等50kg、ヤマトミズン50kgも集まった。23 <sup>h</sup> ~30 <sup>m</sup> 頃までに殆んど集まり、その後は余り増加しなかつた。
8・31	渡嘉敷 島北西側	44 <sup>m</sup>	20-00	3-30	9-30	トウゴロイワシ、イソイワシ、シイラー等が集まったが集魚率悪く40kg程であつた。

調査 月日	調査 場所	水 深	調査時間			果魚状況
			点灯 時間	消灯 時間	所要 時間	
9.25	安室島 北東側	40 <sup>m</sup>	10-00 <sup>m</sup>	24-00 <sup>m</sup>	5-00 <sup>m</sup>	キビナゴ、トウゴロイワシ、シイラー等30kg程集まったが、成魚は少なく、殆んど幼魚であった。 イソイワシの小群とヤマトミズンの群(100~150kg)出現した。
9.26	外地島 西側	40	18-15	24-00	5-15	シイラー、キビナゴが50kgとイソイワシ(大)の小群、ヤマトミズンの群60kg程を集まった。
9.27	阿蘇浦 外側	52	10-00	04-00	9-00	トウゴロイワシ、キビナゴ、シイラーとヤコイワシ等10kgとイソイワシ、ヤマトミズンの群(100kg程)が集まったが、ソーダ蟹も出現し、其魚を喰り食う。
9.28	阿蘇浦 外右側  六基島の 南西側	38	10-00	02-00	7-00	点灯後次第にシイラー、キビナゴ、トウゴロイワシ等150kg程が集まり、水中灯下で直径1米、厚さ2米位の円柱状で集結。殆んどシイラーであった。ヤマトミズンの60kg位の群と、ソーダ蟹も出現した。 10-00 <sup>m</sup> 空電機故障のため調査中止。
9.29	安室島 北東側	45	10-05	5-00	7-55	18 <sup>h</sup> 頃までに、シイラーの中、幼魚が150kg程とトウゴロイワシ、イソイワシ、ミヤコイワシ等少々とが集まった。 其の後は、消灯時まで変化はなかった。

〔註〕

豊後側方面では、漁業者の話しによると、キビナゴの盛漁期は、旧8月15日頃であるとのこと。

2. 魚種及び捕魚量要約

出現魚種名	項目	
	8月	9月
トウゴロイワシ	100~15kg 多い	少ない
シイラー	少ない 10kg	20~150kg
ミヤコイワシ	50~60kg	少ない
バカシヤコ	少ない 10kg	-
テンクラダイ	少々 幼稚魚	-
ヤマトミズン	100~300kg	60~150kg
キビナゴ	多い 250~300kg	少ない 20kg
イソイワシ	少ない	少ない

3 魚種別体長測定結果表

魚種名 月	体長 mm		20	21	26	31	36	41	46	51	56	61	66	71	76	81	86	91	96	101	102	105	備考
	以上	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	
バカシヤコ			1	10	45	94	10																標本数 100尾
トウゴロ イワシ	8			9	14	11	11	10	10	12	17	11	6	3	1	1				1			" 100尾
レイラ	9		9	14	10	23	3	2		1	1	1	2	6	3	3	6	4					" 90尾
	8				30	37	20	15	2	5				1									" 100尾
キビナゴ	9		10	66	15	6	1	1		2													" 100尾
	8								1	35	50	11	2										" 100尾
メアゴ	9		8	7	35	45	6	2															" 100尾
	8																					1	" 1尾
	9																						" 4尾
イソイワシ	8																				2		" 4尾

## 4. 当時の気象海況観測表

## 第 一 次

年月日	観測位置	観測時刻	天候	風位	風力	気圧	気温	水温
1965 8・25	阿波浦外側	6-00	B	NE	4	1018	25.5	18.0
8・29	阿波島南東側	19-00	B	E	3	1016.5	26.6	18.3
8・30	"	6-00	B		Calm	1016.5	26.3	17.8
8・30	安室島北東側	19-00	C	ESE	2	1016	28.0	17.8
8・31	"	6-00	B・C	SSE	2	1017	26.5	17.7
9・1	阿波島北西側	7-00	B・C		Calm	1016	26.1	17.4

## 第 二 次

年月日	観測位置	観測時刻	天候	風位	風力	気圧	気温	水温
1965 9・25	阿室島北東側	18-00	B・C	SSE	3	1020	26.0	17.1
9・26	"	7-00	C	SSW	3	1020	25.7	17.0
9・27	外地島西側	6-00	C	NE	3	1019	25.5	17.0
"	阿波浦外側	18-00	C	N	5	1013.5	25.3	17.2
9・28	"	6-00	C	NNE	4	1021	24.6	16.8
9・29	阿室島北東側	9-00	B・C	ENE	3	1021	24.8	16.7
9・30	"	8-00	B・C	ENE	3	1021	25.0	16.8

## 〔注〕

第二次調査航海時、9月25日と26日の二日に亘って那覇、久米島間の定点観測も実施したが、この分は、那覇、久米島泊観測結果に取替めた。